

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 30, No. 4 神奈川県立生命の星・地球博物館 Dec. 2024



祝・指定100年！ 早川のビランジュ

中央：早川のビランジュ
(小田原市早川字飛乱地)

2024年9月24日撮影

右下：花序

(小田原市早川 海蔵寺境内)

2024年10月15日撮影

大西 亘 撮影

おおにし わたる
大西 亘 (学芸員)

博物館から2 kmほどの石垣山の中腹に、国指定天然記念物『早川のビランジュ』が生育しているのをご存知でしょうか。我が国の天然記念物制度を強く推し進めた東京帝国大学教授の三好学が、牧野富太郎からその存在を知らされて現地調査を行い、三好の報告に基づいて神奈川県内で初めての天然記念物、『早川村の美欄樹』として大正13年(1924年)12月9日に指定されました。三好はその指定理由として「四国九州などの暖地には多く産するが、東日本にはまれで、さらに早川村のビランジュのような巨木は見たことがない」ことを挙げ

ています。指定当時すでに巨木でありながら、「樹勢盛なり」とも記されていました。それから100年が経過した現在でも、根元から堂々たる樹幹を仰ぎ見ることができます。

ビランジュ(バクチノキ) *Prunus zippeliana* Miq. は、日本、台湾、中国東南部、ベトナムに分布するサクラに近縁なバラ科の植物です。独特の赤みを帯びた樹皮が目立ち、秋には白く小さな花が枝先にまとまって咲きます。花が咲くと突出したおしべが白いブラシのように見え(右下図)、同時にアーモンドを感じさせる強く甘い香りがあたりに漂います。